

幼児教育学科

科目名: 幼児と造形表現Ⅱ			担当教員 氏名: 岡野 宏宣						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	専門科目	演習	3単位 選択必修	保育士資格指定科目(選択)			
実務経験を用いてどのよう な授業を行っているか: 臨床美術士、中・高美術教員の経験から実際に作品制作を行うことを軸とし、保育者として子どもの表現に共感する 力や、子どもと造形活動を行うための工夫する力を身に付けることを目的とした授業を行っている。									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
子どもが楽しめる様々な造形表現活動の課題に取り組む(グループ活動もあり)。そのなかで、課題の趣旨を理解して、自ら感じ・考え・表現し、時にはグループで協力して課題に取り組むを態度を培う。また、各課題の後に学びをふり返り、自他の考えや発見、子どもとかがかわる際の援助・留意点などについて整理・記録を行う。					・子どもの造形表現活動 ・個別学習とグループ学習 ・学びのまとめ(造形表現活動の意義や内容、子どもへの援助・留意点などの整理・記録)				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7. 8. 9.				
A 知識・理解力			子どもが楽しめる造形表現活動の意義や内容について理解することが出来る。						
B 専門的技術			保育・教育関係の教職員としての造形表現活動に関する基礎的・基本的な技術を習得する。						
F チームワーク・リーダーシップ			グループ制作を通し、造形活動を通した保育の場における協働の意味を理解する。						
H コミュニケーション力			造形表現活動に取り組むなかで、自己・他者を理解し、コミュニケーションを育むことができる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	50 %	実技試験:	%	その他:	%
特記事項:『レポート(50%)』は、各課題の学びをまとめて整理・記録したフォリオである。『発表(50%)』は、課題作品・提出(課題によっては発表あり)・授業態度である。 本科目ではアクティブ・ラーニングの一環としてグループによる制作活動を取り入れ、保育所などでの子どもたちと造形活動を行うことを想定し授業を行っている。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 各課題(活動1~4)のまとめの授業時間に学びを整理・記録したフォリオを作成して提出。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 作品フォリオの記入状況、課題作品・発表、授業態度と合わせて評価(点数化)していきます。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
①活動1.『紙の技』1 (染め紙)					2色以上で自分で染紙を行う	60分			
②活動1.『紙の技』2 (紙について、貼り子のランプシェード)					張り子でできた郷土玩具について調べる	180分			
③活動1.『紙の技』3 (貼り子のランプシェード)									
④活動1.『紙の技』3 (貼り子のランプシェード/振返り)									
⑤活動2.『素材の工夫』1 (制作)					「転がる」テーマに合った生活素材集める	60分			
⑥活動2.『素材の工夫』2 (制作)					「浮く」テーマに合った生活素材集め	60分			
⑦活動2.『素材の工夫』3 (制作)					「飛ぶ」テーマに合った生活素材集め	60分			
⑧活動3.『版画 紙版画』1 (制作)					版の魅力を知る(フロッタージュで20種類以上の模様を写し取	180分			
⑨活動3.『版画 回転版画』2 (制作)									
⑩活動3.『版画』3 (まとめ)									
⑪活動4.『紙テープの稜線接着』1 (行事について)									
⑫活動4.『紙テープの稜線接着』2 (制作①)					制作の続き	30分			
⑬活動4.『紙テープの稜線接着』3 (制作②)					制作の続き	30分			
⑭活動4.『紙テープの稜線接着』4 (制作③)					制作の続き	60分			
⑮活動4.『紙テープの稜線接着』5 (まとめ)									
使用テキスト: 必要に応じて資料を提供します。					その他参考文献など: 保育をひらく造形表現 萌文書林 槇英子				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業のたびに課題制作がある授業のため、毎回欠かさず出席してください。やむを得ない理由で課題の進行が遅れた場合は、自ら時間をつくり、各課題のまとめの時間までに遅れを取り戻してください。									